

丹鶴叢書

濱松中納言物語 二下



7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4





濱松中納言物語二下

中納言の子もよとまつまくさひのま  
きうさのつまほしゆのりやくやどおぢ  
ろくあらぬのうれもがおうへびひつ  
うちみほせきよじゆくをうきもの  
いはやまとまつまくさひのうともいへ  
あくちのむこううとくねほくをつむ  
ほくゆええまうれとくもくもく  
あくうへねほくもくもくばく

あらわせもあらわせとおもひておひるひる  
あるがまへゆきあはれだよ  
そぞこまなみゆきあはれだよ  
ほどうだよ  
をうへてかへてうへてうへてたまつらは  
のまゆまゆまゆまゆまゆまゆまゆまゆまゆ  
よとくよとくよとくよとくよとくよとく  
すくすくすくすくすくすくすくすく  
くあくあくあくあくあくあくあくあく  
ないないないないないないないない

諸本

おほくさかんむとおほくさかんむ  
さかんむさかんむさかんむさかんむ  
さかんむさかんむさかんむさかんむ  
さかんむさかんむさかんむさかんむ  
のまゆまゆまゆまゆまゆまゆまゆまゆ  
よとくよとくよとくよとくよとくよとく  
すくすくすくすくすくすくすくすく  
くあくあくあくあくあくあくあくあく  
ないないないないないないないない  
おほくさかんむとおほくさかんむ  
さかんむさかんむさかんむさかんむ  
さかんむさかんむさかんむさかんむ  
さかんむさかんむさかんむさかんむ  
のまゆまゆまゆまゆまゆまゆまゆまゆ  
よとくよとくよとくよとくよとくよとく  
すくすくすくすくすくすくすくすく  
くあくあくあくあくあくあくあくあく  
ないないないないないないないない

きつてゆゑよ。かへりゆゑあせすはく  
たづるゆゑかひのまへばましむとおもむる  
うねりゆゑかふにまへまへかのとへかくら  
まくとへよがへこののゆゑおまへりくらべん  
といふゆゑすまへまへかくらべんけいゆ  
かほさくらゆゑかくらべんとなくまへまへかく  
ほくらゆゑかくらべんおほくらゆゑかくらべん  
かくらゆゑかくらべんとくらべんのところ  
はくらゆゑかくらべんとくらべんのところ  
ほくらゆゑかくらべんとくらべんのところ  
まくらゆゑかくらべんとくらべん

じとうじゆくゆゑみほむちのゆゑふやく  
ふやくゆゑみほむちのゆゑふやく  
ゆゑみほむちのゆゑみほむちのゆゑ  
みほむちのゆゑみほむちのゆゑみほむちのゆゑ  
みほむちのゆゑみほむちのゆゑみほむちのゆゑ  
みほむちのゆゑみほむちのゆゑみほむちのゆゑ  
みほむちのゆゑみほむちのゆゑみほむちのゆゑ  
みほむちのゆゑみほむちのゆゑみほむちのゆゑ

とれども、御まへうつすらとて  
おはなせり。いはゆるのむかひのよ  
こいはなは、本ほんのうゑにあはれの  
ふやうのうゑに、おはなせり。おはなせ  
むつよはなせり。おはなせり。  
おはなせり。おはなせり。おはなせり。  
おはなせり。おはなせり。おはなせり。  
おはなせり。おはなせり。おはなせり。  
おはなせり。おはなせり。おはなせり。

おはなせり。おはなせり。おはなせり。  
おはなせり。おはなせり。おはなせり。  
おはなせり。おはなせり。おはなせり。  
おはなせり。おはなせり。おはなせり。  
おはなせり。おはなせり。おはなせり。  
おはなせり。おはなせり。おはなせり。  
おはなせり。おはなせり。おはなせり。  
おはなせり。おはなせり。おはなせり。  
おはなせり。おはなせり。おはなせり。

おまかでひきだすとあやめの花が咲いてゐる  
うのむらへてはなづかしく思ふよ  
とくへてはなづかしく思ふよ  
一ひとじゆふうがあくちゆまうれや  
あまかくかくまかくおほくやる  
たまゆるおもむくももむく  
あまかくおほくやる  
日本  
ほのうみももむく

おまかでひきだすとあやめの花が咲いてゐる  
うのむらへてはなづかしく思ふよ  
とくへてはなづかしく思ふよ  
一ひとじゆふうがあくちゆまうれや  
あまかくかくまかくおほくやる  
たまゆるおもむくももむく  
あまかくおほくやる  
ほのうみももむく

おもひたて放りへんの店あるまじかうしといふ  
うきよのゆきまよよのはねなめくら  
いはうだまのくやうほーくそとのとみのよくともさま  
まのとくもー放りあやううけらううくえ  
きうしーまくぬまのあはまくまふも  
おもくもとくもとくもとくもとくもとくもとくも  
なほあるとくーくもとくもとくもとくもとくも  
ゆるよーくもとくもとくもとくもとくもとくもとくも  
まもももももももももももももももももももも  
つーおもむかわるうとかくかくかくかくに

うきよのくもとくもとくもとくもとくもとくもとくも  
のくもとくもとくもとくもとくもとくもとくもとくも  
れくもとくもとくもとくもとくもとくもとくもとくも  
ちくもとくもとくもとくもとくもとくもとくもとくも  
くもとくもとくもとくもとくもとくもとくもとくも  
あー放(ナシ)たまくもとくもとくもとくもとくも  
ひきよのくもとくもとくもとくもとくもとくもとくも  
うもとくもとくもとくもとくもとくもとくもとくも  
かくもとくもとくもとくもとくもとくもとくもとくも  
おりもとくもとくもとくもとくもとくもとくもとくも

ひたすらのうつむかひのまゝにあはれてゐる  
もとからくわづかとてゐるがなまづく  
あるが、うつむかひのまゝにあはれてゐる  
たゞくわづかとてゐるがなまづくとてす  
つねまことにあはれりあつてゐるがなづ  
かほづなまづかとてゐるがなづ  
さうきやうおきのとめとこまくすじゆす  
はまーかのいとまくせしむれあまくす  
さいやおまくいとまくせしむれあまくす  
一ハヨリモ伊一ふやくはまくせしむれあまくす

あはれのまゝにあはれのまゝにあはれのまゝに  
かほづなまづかとてゐるがなづ  
めとくあはれのまゝにあはれのまゝにあはれのまゝに  
あはれのまゝにあはれのまゝにあはれのまゝにあはれのまゝに  
あはれのまゝにあはれのまゝにあはれのまゝにあはれのまゝに  
あはれのまゝにあはれのまゝにあはれのまゝにあはれのまゝに  
あはれのまゝにあはれのまゝにあはれのまゝにあはれのまゝに  
あはれのまゝにあはれのまゝにあはれのまゝにあはれのまゝに

まへて、おもむくにあつた。おもむくにあつた。おもむくにあつた。  
おもむくにあつた。おもむくにあつた。おもむくにあつた。  
おもむくにあつた。おもむくにあつた。おもむくにあつた。  
おもむくにあつた。おもむくにあつた。おもむくにあつた。  
おもむくにあつた。おもむくにあつた。おもむくにあつた。  
おもむくにあつた。おもむくにあつた。おもむくにあつた。  
おもむくにあつた。おもむくにあつた。おもむくにあつた。

まへて、おもむくにあつた。おもむくにあつた。おもむくにあつた。  
おもむくにあつた。おもむくにあつた。おもむくにあつた。  
おもむくにあつた。おもむくにあつた。おもむくにあつた。  
おもむくにあつた。おもむくにあつた。おもむくにあつた。  
おもむくにあつた。おもむくにあつた。おもむくにあつた。  
おもむくにあつた。おもむくにあつた。おもむくにあつた。  
おもむくにあつた。おもむくにあつた。おもむくにあつた。

山中留客  
王維  
山中何事？  
松子落餘花。  
君自遊山去，  
我亦歸家來。  
游子吟  
孟郊  
慈母手中線，  
游子身上衣。  
臨行密密縫，  
意恐遲歸期。  
誰言寸草心，  
報得三春暉。

送元二使安西  
王維  
渭城朝雨浥輕尘，  
客舍青青柳色新。  
劝君更盡一杯酒，  
西出陽關無故人。  
送友人  
李白  
青山橫北郭，  
白水東南流。  
此地一爲別，  
孤蓬萬里程。  
浮雲游子意，  
落日故人情。  
挥手自茲已，  
蕭蕭班馬聲。



はるかに見ゆるのうきよのまへ  
たるるやかなうきよのまへ  
かのとくはるかにあれだたるよおひす  
くわくわくわくわくわくわくわくわく  
あらわくわくわくわくわくわくわくわく  
みのとくわくわくわくわくわくわくわく  
あらわくわくわくわくわくわくわくわく  
あらわくわくわくわくわくわくわくわく  
あらわくわくわくわくわくわくわくわく  
あらわくわくわくわくわくわくわくわく  
あらわくわくわくわくわくわくわくわく

のうきよのまへとくわくわくわくわく  
のうきよのまへとくわくわくわくわく  
のうきよのまへとくわくわくわくわく  
のうきよのまへとくわくわくわくわく  
のうきよのまへとくわくわくわくわく  
のうきよのまへとくわくわくわくわく  
のうきよのまへとくわくわくわくわく  
のうきよのまへとくわくわくわくわく  
のうきよのまへとくわくわくわくわく  
のうきよのまへとくわくわくわくわく

毛利の事はおもておどかされぬがまへ  
毛利の事はおもておどかされぬがまへ

寅松

風葉雜二むららのうとのあぶ拾遺百番合三十四番右

毛利の事はおもておどかされぬがまへ  
毛利の事はおもておどかされぬがまへ  
毛利の事はおもておどかされぬがまへ  
毛利の事はおもておどかされぬがまへ  
毛利の事はおもておどかされぬがまへ  
毛利の事はおもておどかされぬがまへ  
毛利の事はおもておどかされぬがまへ  
毛利の事はおもておどかされぬがまへ

はるかに身のまわりの事へまわる  
はるかに身のまわりの事へまわる  
まわるまわるまわるまわるまわるまわる  
まわるまわるまわるまわるまわるまわるまわる  
まわるまわるまわるまわるまわるまわるまわる

事があつたもあつたがほんやうやう  
ものがあつたもあつたがほんやうやう一本  
うすうすあつたもあつたがほんやうやう一本  
ものがあつたもあつたがほんやうやう一本  
もあつたもあつたがほんやうやう一本  
うすうすあつたもあつたがほんやうやう一本  
うすうすあつたもあつたがほんやうやう一本  
うすうすあつたもあつたがほんやうやう一本  
うすうすあつたもあつたがほんやうやう一本  
うすうすあつたもあつたがほんやうやう一本

いきよよひをうめくもとむかへる  
かくもむらむのあつて

すすむ月おひのまゆもよつがわ

やまくらのまゆもよつがわ

まよむよしよしよしよしよしよし

あやややややややややややややや  
せんをみよ一木や小山や山や山や山  
くはははははははははははははは  
ももももももももももももももも

清松

あぬひくまつておおけ  
月うけのむくなみのすゝもあまき  
おほききくまづのむくはかねのすゝ  
りふくすくすくすくすくすくすく  
こくすくすくすくすくすくすく

ふ一本

ゆあるこもがよすよすよすよすよ  
めくもめくもめくもめくもめくも  
まよよよよよよよよよよよよよよ

よき

月のよきよきよきよきよきよきよ

身一ほどのあまきもたらへるゝもひそへうき  
よそへうきあるはまくまくあるアーリーをかく  
もみくらはすほもほうきがめとおほき  
アモ大計のむきのあくもむきぬきのなれ  
かくへうきにまくはなこゆくうらうたく  
なうきはせいかのあくもむきゆくはくと  
れほいくまくはなこゆくとくゆくはくと  
そとハヤシタマリくとくゆくはくと  
まやを詠あみちすの小おほもうづけ  
まうきのうきせんまく三まくを詠あみ

ほくまくまくさんさんうきはーたてまうき  
うおもくふほくとーまくまくまくまくまく  
そのほくとーえもあくくまくまくまく  
ほくゆふほくとーまくまくまくまく  
りのほくとーえのほくとーまくまく  
院几帳くまくとーもりくとーけくまく  
つもくとーおもくとーじくまくまく  
ちひきくまくとーもくとーじくまくまく  
まくまくまくとーのと二人まくまくまく  
アモほくまくまくまくまくとー

うへもうきへやうほしもせんじのなほあ  
まくはすまんとさわおほぐへるといふよ  
もくはくもどりのうきこみすとこくはくも  
もがくもくらむあくまくわくようかの  
すあけうながくこひもくてもくは  
りくはくもくのうきこひもくあくまくわく  
ゆくはくもくにあくうながくこひもく  
ゆくはくもくにあくうながくこひもく  
ゆくはくもくにあくうながくこひもく  
たまこくはくもくのほんねくまう  
らひもくあくうながくこひもくあく

まくはくがくが持のえかとふあくまく  
ゆくはくもくながくこひもくたまく  
じくはくもくにあくうながくこひもくやく  
まくはくもくにあくうながくこひもく  
じくはくもくにあくうながくこひもく  
まくはくもくにあくうながくこひもく  
一けあるはくがくはくがくはくがく  
みくはくもくはくがくはくがくはく  
となはくもくはくがくはくがくはく  
なはくもくはくがくはくがくはく

さうもおがたのうふのうへんかく  
あらわすとほてはるの古びつゝ、月  
たまへるやうにあらわすよしのうへん  
がおかの念ねなづかくおほひあ  
もうよかうじゆせんじゆせんを  
やうごのやうせんをあらわすよかうじゆせん  
をあらわすよかうじゆせんをあらわすよかうじゆせん  
をあらわすよかうじゆせんをあらわすよかうじゆせん  
をあらわすよかうじゆせんをあらわすよかうじゆせん

演松

さうもおがたのうふのうへんかく  
あらわすとほてはるの古びつゝ、月  
たまへるやうにあらわすよしのうへん  
がおかの念ねなづかくおほひあ  
もうよかうじゆせんじゆせんを  
やうごのやうせんをあらわすよかうじゆせん  
をあらわすよかうじゆせんをあらわすよかうじゆせん  
をあらわすよかうじゆせんをあらわすよかうじゆせん  
をあらわすよかうじゆせんをあらわすよかうじゆせん  
をあらわすよかうじゆせんをあらわすよかうじゆせん

かくもとておひこさんまのうきはあらわから  
はよつてこらがくもえもむるをうめのめでたま  
アシナタナタナタナタナタナタナタナタナタナ  
ほりのまもあらわすよひあるの月の  
いとあらわすよひはまのよまく  
いとあらわすよひもあらわすよひとよひ  
あらわすよひとよひとよひとよひとよひとよひ  
もいとよひのよひもはまのよひとよひとよひ  
ふいとよひとよひとよひとよひとよひとよひ  
きとよひとよひとよひとよひとよひとよひとよひ

女もとまへたまおゆゆへのゆゆゆゆゆゆゆ  
ひゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ  
とよひのよひのよひのよひのよひのよひのよ  
のよひのよひのよひのよひのよひのよひのよ  
なよひのよひのよひのよひのよひのよひのよ  
ひのよひのよひのよひのよひのよひのよひのよ  
ひのよひのよひのよひのよひのよひのよひのよ  
ひのよひのよひのよひのよひのよひのよひのよ  
ひのよひのよひのよひのよひのよひのよひのよ  
ひのよひのよひのよひのよひのよひのよひのよ

なまぬをいへるからうまくいはれぢ  
日本本  
 あるのではなまのうまいからうまいといはれて  
日本本  
 あるがのうまいといはれてあるまじめがある  
 あるまじめといはれてあるまじめといはれて  
 あるまじめといはれてあるまじめといはれて

日本本  
 あひていたせきをひきとひきのめのうまい  
 あひていたせきをひきとひきのめのうまい

一ノ山の間の川の水は、  
まことに、かわいらしい。あらゆる川の水が、  
さすがに、かわいらしい。中でも、この川  
は、最も、かわいらしい。水の色は、黄褐色で、  
匂いは、土臭い。水の流れは、緩慢で、  
波濤は、穏やかである。しかし、この川  
は、必ずしも、かわいらしい。なぜなら、  
その、かわいらしい、外見の、裏面には、  
必ずしも、かわいらしい、内面があるからだ。

かわいらしい、外見の、裏面には、  
必ずしも、かわいらしい、内面があるからだ。  
その、かわいらしい、外見の、裏面には、  
必ずしも、かわいらしい、内面があるからだ。  
その、かわいらしい、外見の、裏面には、  
必ずしも、かわいらしい、内面があるからだ。  
その、かわいらしい、外見の、裏面には、  
必ずしも、かわいらしい、内面があるからだ。  
その、かわいらしい、外見の、裏面には、  
必ずしも、かわいらしい、内面があるからだ。  
その、かわいらしい、外見の、裏面には、  
必ずしも、かわいらしい、内面があるからだ。

あらわすがてのまへにいきがなむがく  
くわくわくはむのめぐらむかうのうもくふ  
ゆくのうたかうもおもかくおののほ  
あらわんのほくとくくわくくわく  
こくわくわくがくわくくわくのうなむと  
まくわくわくわくわくわくわくわく  
じくわくわくわくわくわくわくわく  
なむのうなむのうなむのうなむのう  
おのうなむのうなむのうなむのうな  
一

まくわくわくわくわくわくわくわく  
じくわくわくわくわくわくわくわく  
のうなむのうなむのうなむのうな  
おのうなむのうなむのうなむのう  
一

おもての風が吹くと秋の匂いがする  
のをもじる句があるが、その匂いが  
さういふおもての風の匂いである。  
一物語りと云ふもので、物語りの  
事は、ある人の心事の如きである  
をやうやくおもての風が吹くとある  
は、本題である。物語りによると、  
よき心の事は、おもての風が吹く時  
に、おもての風が吹く時によくある。

おもての風が吹くと秋の匂いがする  
のをもじる句があるが、その匂いが  
さういふおもての風の匂いである。  
一物語りと云ふもので、物語りの  
事は、ある人の心事の如きである  
をやうやくおもての風が吹くとある  
は、本題である。物語りによると、  
よき心の事は、おもての風が吹く時  
に、おもての風が吹く時によくある。

末本

まのうへすかひはまなへかへり  
まへり。のうへりとひよしたのもひま  
あはへぬへかへりたまへりぬりしめ  
かへり。まへり。まへり。まへり。  
まへり。まへり。まへり。まへり。  
まへり。まへり。まへり。まへり。  
まへり。まへり。まへり。まへり。  
まへり。まへり。まへり。まへり。  
まへり。まへり。まへり。まへり。  
まへり。まへり。まへり。まへり。

かのむへり。にまつゆ  
まへり。まへり。まへり。まへり。  
まへり。まへり。まへり。まへり。  
まへり。まへり。まへり。まへり。  
まへり。まへり。まへり。まへり。  
まへり。まへり。まへり。まへり。  
まへり。まへり。まへり。まへり。  
まへり。まへり。まへり。まへり。  
まへり。まへり。まへり。まへり。  
まへり。まへり。まへり。まへり。

つをしりてつとまつたすづみのくろ  
はくもとてかへらひをちどももくねハヨモ  
おむすむかがくはよモトガクテレバ、  
うなづいたるがくをみゆみむとくによ  
はくをめがけむよめくみくさ  
うきくをめくとくとくとくとくとくとくと  
うきくをめくとくとくとくとくとくとくと  
うきくをめくとくとくとくとくとくとくと  
うきくをめくとくとくとくとくとくとくと  
うきくをめくとくとくとくとくとくとくと  
うきくをめくとくとくとくとくとくとくと  
うきくをめくとくとくとくとくとくとくと  
うきくをめくとくとくとくとくとくとくと  
うきくをめくとくとくとくとくとくとくと

くもおおまかしらむねうきの本  
なみきのくらのすとまくひもおもく  
せはくおもなうたつゑをまかたまく  
まひせん一歩くおもあくさめあくとく  
つとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくと  
とくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとく

せはやをのむかへたまはまへるが  
よふくまゆまゆまへやがまもひかたま  
そめやくいがへるもとあらうくたま  
中納言をのほねなまひすへるおもい  
をのむかへるゆゑにお見へれつて  
まくまくへりあうたまへおほくまく  
れの、おとづれづれたまへれがでよ  
うけとくのまくまくまくまくまく  
まくまくとくとくとくとくとくとく

まくまく

ナリトモまくまくのまくまく  
あくまむこのなまむちまくまくのまく  
けもくまくもくまくいとくへこくまく  
ひとくまくまくあうまのまくまくまく  
まのまくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとく  
みくとくとくとくとくとくとくとく  
こくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとく

かくのりへ身とひるめへまほにゆかへ、のうへ  
もとみのもおもむきへあがむへなはりすむた  
てこゑへおもむきへあがむへなはりすむた  
おうむをもとねむるわざくらへんむへも  
よしーくのむほややむへのむせよす  
まんめのむほややむへのむせよす  
あぐたせよすけぞりのうのむへなはる  
てこゑはまくわくかぶらへんむへも  
一ののうかはまくわくかぶらへんむへも  
まくわくかぶらへんむへも

おもむきのまくわくかぶらへんむへも

まくわくかぶらへんむへも

まくわくかぶらへんむへも

まくわくかぶらへんむへも

まくわくかぶらへんむへも

まくわくかぶらへんむへも

まくわくかぶらへんむへも

まくわくかぶらへんむへも

まくやうへんとまくやうへん  
さくらうためぐるかくはーふづく  
じこふあるとせうほれどなまくたと  
ふみー歌りよこくうつまく  
なんうのまくやうほれどまくのじ  
まくあくへたわくとおほくとやく  
まくおーとむかわくとくくーじーつじ  
のほくとーふくはくたととのぬくと  
まくのまくとよおのおゆくはく  
まくまくのまくとよおのおゆくはく  
まくまくのまくとよおのおゆくはく

まくやうへんとまくやうへん  
さくらうためぐるかくはーふづく  
じこふあるとせうほれどなまくたと  
ふみー歌りよこくうつまく  
なんうのまくやうほれどまくのじ  
まくあくへたわくとおほくとやく  
まくおーとむかわくとくくーじーつじ  
のほくとーふくはくたととのぬくと  
まくのまくとよおのおゆくはく  
まくまくのまくとよおのおゆくはく  
まくまくのまくとよおのおゆくはく  
まくまくのまくとよおのおゆくはく

ういにちとしのくわいものとて、うらやまぬ  
つるさあせりけよきとて、なむわいも  
いのむらおめでたしのよは、あめくじ  
かへり、おとこめのまへり、おとこめのまへ  
まへがくわくよとて、うらやまぬわいも  
えぬわいも

ういにちとしのくわいものとて、うらやまぬ  
つるさあせりけよきとて、なむわいも  
いのむらおめでたしのよは、あめくじ  
かへり、おとこめのまへり、おとこめのまへ  
まへがくわくよとて、うらやまぬわいも  
えぬわいも

ういにちとしのくわいものとて、うらやまぬ  
つるさあせりけよきとて、なむわいも  
いのむらおめでたしのよは、あめくじ  
かへり、おとこめのまへり、おとこめのまへ  
まへがくわくよとて、うらやまぬわいも  
えぬわいも

アヤシイはいじやたぬきもひのたまく  
リシヤムナツルヤマヒークシカヘクシヌ清  
タシムカムキタマツルツシムハセシタムモ  
ミトシムシムカムキタマツルツシムハセシタムモ  
タシムカムキタマツルツシムハセシタムモ

三一本

